



被災地に送るレトルトのうずみを段ボールに詰める中島会長（左）ら

福島へうずみごはん

福山市がレトルト270食

福山市の郷土料理「うずみ」をレトルトにした「福山うずみごはん」270食が7日、福山市飯野町に向けて発送される。レトルトうず

みは、賞味期限が1年と長く、調理が簡単なのが特長。「復旧・復興支援に役立ててほしい」と開発元の備後特産品研究会（中島基晴会長）が6月末、市に寄贈した。市はふくやま福島県人会の紹介を受け、発送先を決めた。

この日は同研究会の

メンバーと市職員らがレトルトの入った段ボール9個を運送業者のトラックに積み込んだ。9日に現地に到着の予定。中島会長は「一日も早い復興を願っている。うずみと一緒に、思いやりや優しさといったローズマインドも届けられれば」と話していた。（長瀬庸一）

された。福山市の東日本大震災被災地支援の一環。現地に避難している飯舘村役場に届けられる。レトルトうず